

蓮華を踏む

仏さまの台座は蓮華です。その蓮華の上に仏さまが座ったり、立ったりされています。観音菩薩の象徴は蓮華ですから、必ず手に蓮華を持っておられます。不動明王は蓮華を頭に載せて、迷える衆生を導いておられます。

金龍寺では、大観音の足元に石の蓮華が敷いてあります。この蓮華を踏みながら、観音さまの周囲をめぐる「**不断念誦行道**」(ふだん ねんじゆ ぎょうどう)を行なっています。

金龍寺の十一面観世音菩薩は、高さ7.6尺、光背が9尺、名古屋一の高さを誇ります。頭上の十一面が十方を凝視して、慈悲の眼差しを市民にそそいでおられます。尊像が高いため、仰向いて拝む人が多いようですが、これでは礼拝姿勢にはなりません。「**不断念誦行道**」は**観音さまと一心同体になる修行です**。途切れることなく、一昼夜24時間めぐり続けますから、参拝者からは「本当にお参りした気分になった」という感想が寄せられています。

悲しければ、大悲十一面尊のご真言「**オン マカ キャロニキャ ソワカ**」を唱えつつ周囲を巡ってください。きっと悲哀が癒されます。悩みがあれば、観音さまの大きな足をさすったり、尊顔を仰いだりしてください。明るい光が見えてきます。仕事を達成させれば、大観音の息のかかる足元で歩き続けてください。気迫が満ち、知恵が授かります。

私たちは、仏さまの性質を秘めています。これを「仏性」あるいは「如来蔵」といいます。観音さまの蓮華を素足で踏むことによって、忘れていた「仏性」に気づくことができます。尊い蓮華を踏むのはもったいないと思われるかもしれませんが、私たちは、仏から生まれた尊い仏の子です。踏んでもいいのです。眠っている宝の蔵に入るための「不断念誦行道」です。

素足で蓮華を踏み、観音さまと一心同体になってください。

蓮華の輝かしい観音浄土に、身も心もゆったりと遊ばせてください。

お誘いあわせの上、皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

常に 念じ 歩く

不断念誦行道

10月22日(土)9時～23日(日)9時まで

会場 **金龍寺** / お問合せ ☎ 052-881-5261